

公表

## 事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	重心児デイサービス Happy Face		
○保護者評価実施期間	R8年 3月1 日 ~ R8年 3月 14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	R8年 3月 1日 ~ R8年 3月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3 月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設の移転に伴い、これまで以上に安全性やバリアフリーに配慮した支援ができてきていること。	施設の移転により支援室や移動スペースが広がったことで安全性が増し、活動の幅も広がった。また、スロープ、入浴介助・トイレ介助スペース等も充実し、利用者にとっても職員にとってもこれまで以上に安全・安心な空間で支援を行うことができてきている。	施術台の使用等、職員の身体的負担を減らす対策をさらに充実させることが、結果として利用者の更なる安全へと繋がるのが想定される。
2	活動の種類が多く、日々の支援が単調化しないように工夫されていること。	日々の活動が単調化しないような充実した内容の集団活動を計画し、毎日バランスよく実施している。また、季節やイベントに特化した活動なども充実している。	利用者を楽しんでもらうことは勿論、一人一人の身体機能などにより考慮した活動を増加していくとさらに良くなると思われる。
3	利用者一人一人に対してとても手厚い支援が実施できていること。	殆どの場合、職員が利用者に対してマンツーマンで接している為、一人一人に対して日々手厚い支援をすることができている。それに加えて、日々担当者が変わることで、様々な職員と信頼関係を形成し、利用者にとっても過ごしやすい環境作りができているといえる。	職員全員が利用者に対する個別の思いを持ちつつ、全体で共通の目標を持って支援を実施することを重視することで、さらに利用者に寄り添った支援ができると思われる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害のない子どもたちと接する機会があまり設けられていないこと	夏祭りや運動会等のイベントを通して、障害のない子どもたちと接する機会は設けているが、あまり頻度を増やすと、普段とは異なる関わりや環境が多くなり利用者の負担も大きくなると考えられる。そのため、交流の機会を最小限に抑えている。	頻度を増やす場合、利用者にとっての負担が最小限となる交流の仕方を考え、交流自体をポジティブに捉えて貰えるよう更に工夫する必要がある。
2	父母の会の活動や、保護者会の活動の実施が不十分であること	日程調整や時間確保の困難さ、また開催方法や内容についての具体的な検討が不十分であった。	多くの保護者が一斉に参加できるような時間調整や日程調整が難しい為、オンラインでの実施等を検討し、できるだけ多くの保護者が参加できるような工夫をしていく。

3	保護者面談、助言等の機会が少ないこと	保護者の希望により、子育てに関することや、保護者自身の悩みを相談する場を実施することが可能であるが、全体への周知が十分に行き届いていない可能性が考えられる。	書面やSNS等で定期的に周知を行っていく。
---	--------------------	--	-----------------------

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名 重症児デイサービス Happy Face

R8 年 3 月 31

公表日 日

利用児童  
数

R8 年 3 月 31 日

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3					
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2			1		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		1		2		
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2			1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	1				
	非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3				
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			1		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2			1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名		重心児デイサービス Happy Face		公表日		R8 年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		室内までのスロープ完備、室内でも部屋間の移動スペースに十分な空間があり、利用者配慮した設計になっている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		1室を隔離部屋として使っている。仕切れるようになっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	3		・あまりPDCAサイクルが回っているように感じない。 ・話し合ってから改善した後のC&Aが弱い。振り返りシート等で、改善してみてどうだったか、という検討があると更に良くなる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		第三者外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		意見を募集の声掛けをしているが、出てきたことがほぼない。特定の人だけの意見になっている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5	最近では月に1回ミーティングがあり、その場で話し合うこともできているように感じる	・実施しているが、より固定化された振り返りの時間があるとさらに良い。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2		
	関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
25		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1		
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
28		(28～30は、センターのみ回答)				
28		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答)					
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		・みたことがない。 ・第三者外部評価は行っていない。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		重心児の保護者に対して、一般的に精通しているペアトレを安易に実施せず、よい精緻化されたものが必要になると思われる。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2		
非常時等の対	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	2		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3		

応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			

公表

## 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	重心児デイサービス Happy Face		
○保護者評価実施期間	R8年 3月1 日 ~ R8年3 月14日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R8年3 月1 日 ~ R8年 3月 14日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設の移転に伴い、これまで以上に安全性やバリアフリーに配慮した支援ができてきていること。	施設の移転により支援室や移動スペースが広がったことで安全性が増し、活動の幅も広がった。また、スロープ、入浴介助・トイレ介助スペース等も充実し、利用者にとっても職員にとってもこれまで以上に安全・安心な空間で支援を行うことができてきている。	施術台の使用等、職員の身体的負担を減らす対策をさらに充実させることが、結果として利用者の更なる安全へと繋がるのが想定される。
2	活動の種類が多く、日々の支援が単調化しないように工夫されていること。	日々の活動が単調化しないような充実した内容の集団活動を計画し、毎日バランスよく実施している。また、季節やイベントに特化した活動なども充実している。	利用者を楽しんでもらうことは勿論、一人一人の身体機能などにより考慮した活動を増加していくとさらに良くなると思われる。
3	利用者一人一人に対してとても手厚い支援が実施できていること。	殆どの場合、職員が利用者に対してマンツーマンで接している為、一人一人に対して日々手厚い支援をすることができている。それに加えて、日々担当者が変わることで、様々な職員と信頼関係を形成し、利用者にとっても過ごしやすい環境作りができているといえる。	職員全員が利用者に対する個別の思いを持ちつつ、全体で共通の目標を持って支援を実施することを重視することで、さらに利用者に寄り添った支援ができると思われる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障害のない子どもたちと接する機会があまり設けられていないこと	夏祭りや運動会等のイベントを通して、障害のない子どもたちと接する機会は設けているが、あまり頻度を増やすと、普段とは異なる関わりや環境が多くなり利用者の負担も大きくなると考えられる。そのため、交流の機会を最小限に抑えている。	頻度を増やす場合、利用者にとっての負担が最小限となる交流の仕方を考え、交流自体をポジティブに捉えて貰えるよう更に工夫する必要がある。
2	父母の会の活動や、保護者会の活動の実施が不十分であること	日程調整や時間確保の困難さ、また開催方法や内容についての具体的な検討が不十分であった。	多くの保護者が一斉に参加できるような時間調整や日程調整が難しい為、オンラインでの実施等を検討し、できるだけ多くの保護者が参加できるような工夫をしていく。

3	保護者面談、助言等の機会が少ないこと	保護者の希望により、子育てに関することや、保護者自身の悩みを相談する場を実施することが可能であるが、全体への周知が十分に行き届いていない可能性が考えられる。	書面やSNS等で定期的に周知を行っていく。
---	--------------------	--	-----------------------

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	12			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	12			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	1	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	1		概ねできていると思うが、スタッフ間同士で共有されているのか分からない
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	4	1	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	12			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	12			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	12			あたたかい支援をしていただいていると思います

<sup>i</sup> 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

<sup>ii</sup> 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1		人数が多いと、一人一人の間隔が狭いと感ずることがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	2		児童3人に対して職員2人ということもあるが、ケア度に配慮してくれている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			室内までのスロープ完備、室内でも部屋間の移動スペースに十分な空間があり、利用
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3	2	・PDCAが回っているように感じない ・話し合ってから改善した後のC&Aが弱い。 振り返りシート等で、改善してみようだったか、という検討があると更に良くなる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	5	第三者は行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	3	内部研修、外部研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2	2	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9		1	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	3	・実施してはいるが、より固定化された振り返りの時間があるとさらに良い。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	2		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	2		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	1		

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	1	1	保護者を通すことが多い
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1	2	
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	2		
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	4	
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	4	
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	2	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	2	2	重心児の保護者に対して、一般的に精通しているペアトレを安易に実施せず、よい精緻化されたものが必要になると思われる。
保護者への説明責任等	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1		
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	2	みたことがない。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			
	㉝	個人情報に十分注意しているか	10			
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	2	
非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1		
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1		
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			
	㊵	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	1		
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			